

TOPICS

こんなことを
話し合い
決めました

令和元年第4回定例会は、12月3日(火)から12月20日(金)の18日間の会期で行いました。条例の改正や補正予算などの議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決、承認、同意しました。

今回の議案等は47件

※議案一覧は6ページに掲載。

- 報告 …………… 2件
- 承認 …………… 2件
- 条例 …………… 9件
- その他 …………… 11件
- 予算 …………… 12件
- 人事 …………… 8件
- 議員提出 ……… 1件
- 請願 …………… 2件



TOPIC 01

令和元年度一般会計補正予算(第7号)

東京2020オリンピックピック聖火リレーを開催!

東京2020オリンピックピック聖火リレー開催事業を含む 一般会計補正予算を可決

16億1,209万6千円を増額し、総額574億601万5千円とする令和元年度天草市一般会計補正予算(第7号)は、12月11日に予算決算委員会審査を行いました。

今回の補正では、東京2020オリンピック聖火リレーの開催に伴う県実行委員会への負担金やふるさと応援寄附金の見込額増に伴い、業務委託

料などで予算不足が見込まれる事務経費が計上されました。

また、ASF(アフリカ豚コレラ)の養豚農場への侵入を防ぐための防護柵整備の補助金なども計上され、原案どおり可決されました。主な補正予算の内容や質疑については、次のページでご紹介します。



東京2020オリンピックピック聖火リレー開催に伴う県実行委員会負担金 1,117万6千円を増額

内容

今年5月6日〜7日に県内で行われるオリンピック聖火リレーが本市でも6日に行われることが決定しており、費用については、県と市町村で負担することとなっているため、補正する。

質疑

問 本市の聖火リレーのコースは。

答 天草市民センターをスタートし、本戸公園をゴールとする約2・6キロメートルのコースで実施され、13〜16人でリレーを行う。

問 聖火リレーにかかる負担金が高額では。

答 警備員の費用、交通規制にかかる作業及び資器材等が主であり、最大限の費用で計上しているが、余剰金については返還される。

問 本市で聖火リレーを行うランナーの選定は。

答 ランナーの選定(県実行委員会)は、県実行委員会で行うこととなっており、市として直接関係とはできないが、県や本市にゆかりがある人を選定するよう強く要望した。ランナーは、県実行委員会会員のほか、スポンサー枠により選定されることとなっている。

要望 市内の業者で対応できる業務については、できるだけ市内の業者に依頼すること、資器材等については、市の備品等を活用するなど、できるだけ経費削減に努めるよう要望する。

ふるさと応援寄附金の見込額増に伴い、業務委託料等の予算を増額 6,321万6千円を増額

内容

ふるさと応援寄附金の額が当初の計画を上回ることに伴い、業務委託料等の事務経費の不足が見込まれるため、補正する。

- ・ふるさと応援寄附金の見込額
補正前 3億円
補正後 4億円(1億円の増)

質疑

問 お礼品の中で一番人気があるのは何か。

答 天草黒牛の人气が高く、寄附金増額のけん引役となっている。

問 ふるさと納税事務を業務委託ではなく直営で行う考えはないのか。

答 現状の限られた職員の中では、対応が難しい。

アフリカ豚コレラの養豚農場への侵入を防ぐための防護柵整備に係る補助金 2,000万円を増額

内容

アジア地域で急拡大しているASF(アフリカ豚コレラ)の養豚農場への侵入防止を目的に、野生動物侵入防護柵の整備に対し、国・県にあわせて市でも支援を行うため、補正する。

質疑

問 アフリカ豚コレラが国内に侵入する場合、どのような経路が想定されるのか。

答 海外からの旅行者が違法に畜産物を持ち込む場合や、海外からの航空機や船舶の機内食の残渣が適正に処理されず、野鳥やネズミの食害により、ウイルスが広がるのが想定される。

問 国内侵入を防ぐ手段として、養豚場周辺に防護柵を設置する意味は。

答 まずは、ウイルスを国内に侵入させない取り組みが重要となるため、国においても検査など水際対策の強化を行っているが、防護柵については、仮に国内に侵入した場合でも、ウイルスを直接媒介するイノシシを豚に近づけないことを目的に設置する。

